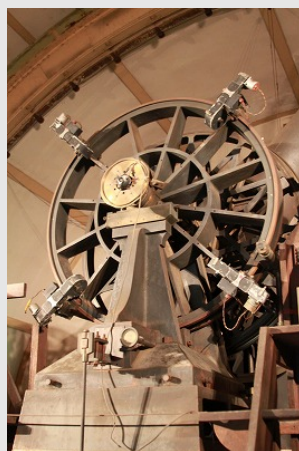


ゴーチェ子午環			解説・備考 子午環は、子午線上の天体の位置（赤経と赤緯）を精密に観測できるように工夫された望遠鏡である。そのため、子午線面内(南北方向)でのみ正確に回転する仕組みになっている。 ゴーチェ子午環は1903年にフランスで製作され、1904年に当時の価格約2万円で購入された。当時天文台のあった麻布でしばらく試験的に使用されたが、1924年の天文台の三鷹への移転後には、三鷹の主要装置として稼動した。1925年の世界経度測量で初めて使用され、1931年の小惑星エロスの衝の国際共同観測にも使用されたが、本格的に使用され始めたのは1935年だった。	解説・備考引用 アーカイブ新聞第784号、778号、730号、718号、717号、710号、212号、160号、144号、110号、111号、国立天文台ニュース2013年2月号	大分類 望遠鏡 中分類 屈折望遠鏡 小分類 子午儀						
英語名											
Gautier Meridian Circle											
製作者		P・ゴーチェ社				様式					
制作時期		1803年				指定種別					
制作場所		パリ(フランス)				指定番号					
印章・銘記						指定日付					
識別子		NAOJMIT0000027				収蔵場所					
						ゴーチェ子午環室(三鷹本部)					

ゴーチェ目盛環			解説・備考 ゴーチェ子午環がその使命を終わる頃には、目盛環の読み取りは4カ所に設置された長尺フィルムを使ったカメラによっていた。目盛環読み取りの顕微鏡には、小さいマイクロメータが着いていて、星が子午線通過した瞬間に目盛を撮影して星の高度を測定した。	解説・備考引用 アーカイブ新聞第212号	大分類 子午儀 中分類 小分類						
英語名											
製作者		P・ゴーチェ社				様式					
制作時期		1803年頃				材料					
制作場所		パリ(フランス)				指定種別					
印章・銘記						指定番号					
						指定日付					
識別子		NAOJMIT0000028				収蔵場所					
						ゴーチェ子午環室(三鷹本部)					